

就任のご挨拶

—長官からのメッセージ—

特許庁長官 鈴木 隆 史



この度、7月11日付けで特許庁長官を拝命いたしました。

経済のグローバル化が進展し国際競争が激化する中、我が国経済が持続的に成長を遂げていくためには、イノベーションの促進に向けた知財システムを構築し、我が国産業の国際競争力を強化していくことが不可欠です。このような時期に特許庁長官として知的財産政策の中核に携わる機会が得られて誠に光栄であり、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

政府においては、様々な知的財産政策が強力かつ多面的に推進されています。本年6月18日には、知的財産戦略本部において、「知的財産推進計画2008」が決定され、世界最先端の知財立国を目指した戦略的な知的財産対策のメニューが提示されました。また、特許庁では、昨年12月に「イノベーションと知財政策に関する研究会」を設置し、経済のグローバル化の進展や技術の高度化・複雑化などの環境変化に対応した新たな知財システムの構築に向けて検討を行ってまいりました。

これらを踏まえ、知的財産政策の中核を担う特許庁としては、以下のような施策を実施してまいります。

第一に、一つの発明が効率的にグローバルな知財となるような「仮想的な世界特許庁」の構築を目指します。そのために、実体法から審査実務、検索環境まで様々なレベルにおける国際調和を行うとともに、特許審査ハイウェイの拡大など特許庁間の審査ワークシェアリングの取組を進めてまいります。

また、我が国の知財が模倣被害によって損なわれることがないように、模倣品対策につきましても、海外政府への働きかけや模倣品対策マニュアルの整備、消費者への普及啓発活動等を積極的に行ってまいります。

第二に、出願人の多様なニーズに柔軟に対応しつつ、特許審査の更なる迅速化・効率化に向けた取組を進めてまいります。具体的には、現行の早期審査制度よりも更に早く審査を行うスーパー早期審査制度を導入するとともに、先行技術調査の外注拡大やITを活用したペーパーレス化等の効率化に取り組み、世界最高水準の迅速な特許審査の実現を目指します。

第三に、オープンイノベーションの進展に対応した知財インフラ整備を行ってまいります。具体的には、複数の大学・研究機関が連携して取り組んでいる「研究開発コンソーシアム」等のプロジェクトを対象にした知財プロデューサー派遣事業や、特許情報とグローバルに存在している技術情報をシームレスに検索できる環境の整備などに取り組んでまいります。

第四に、知的財産の戦略的活用が不十分な中小企業や地域への支援の強化に向けて、地域知財戦略本部の活動を充実させるとともに、地域における相談窓口である知財駆け込み寺の機能強化を進めてまいります。また、地域団体商標制度の活用を促し、地域ブランドの適切な保護及びその価値の向上を図ってまいります。

以上、就任に当たって、抱負の一端を申し述べました。私は特許庁に課せられた役割の重要性を認識し、国民の信頼を得られる特許行政を実現するとともに、世界最高水準の知財サービスを提供する特許庁を目指していきたく思っております。最後になりましたが、国民の皆様の一層の御支援、御理解を心からお願い申し上げます。私のごあいさつとさせていただきます。